

多治見ライオンズクラブ 60 周年記念事業【Tajimi Archive】より

多治見のこどもたち 明治～大正～昭和

日本にカメラが伝わったのは江戸時代後期のことです。明治・大正期の写真撮影は、お正月や入学・卒業式など、特別な出来事の際の一大イベントでしたが、カメラが一般に普及すると、徐々に日常の光景も記録されるようになっていきました。今回は、昨年度多治見ライオンズクラブより寄贈された「Tajimi Archive」の中から、明治から昭和初期にかけて撮られたこどもたちの写真をご紹介します。時代ごとのこどもの表情の変化をお楽しみください。



昭和7年(1932)正月 自宅の庭にて 晴れ着の子どもたち



昭和12年(1937)8月 いたづらのあと

明治43年(1910)10月
誕生日の記念に写真館で

大正14年(1925)5月 土岐川河原にやってきた飛行機に乗る少年

多治見について調べるなら
郷土資料室へ

地域に関する資料や皆様から寄せられた文書や記録などを、整理・保存しています。
資料は、調べ学習や研究にもご利用いただけます。地域の歴史に関するご相談は、郷土資料室までどうぞ。
皆様からの郷土資料のご寄贈や情報の提供などもお待ちしております。

多治見市図書館郷土資料室

〒507-0034 多治見市豊岡町 1-55 ヤマカまなびパーク 4階 JR 多治見駅より徒歩5分 TEL. 0572-23-3783

開 室：火～土曜日 10時～17時（日・月・祝日・年末年始は休室）※図書館とは開室日・時間が異なりますのでご注意ください。